

津市観光ガイドブック

Tourism Guidebook

TSU



QR Translator.

- 日本語
- ENGLISH
- 繁体字



歴史ある街並み

一身田寺内町

国宝 高田本山専修寺 如来堂・御影堂

平成29年11月28日、三重県内で初めて
国宝建造物に指定!



「浅田家!」「THE LEGEND&BUTTERFLY」「わたしの幸せな結婚」のロケ地になりました!

如来堂



御影堂の西に位置され、御影堂と並んで南面するお堂です。「証拠の如来」と呼ばれる阿弥陀如来立像を本尊とし、教義上この堂が伽藍の本堂となります。

御影堂



宗祖親鸞聖人の木像を中央須弥壇上に安置し、歴代人の画像を両脇壇および両余間に敬置するお堂となっています。量725枚が敷かれており、全国の現存木造建築の中でも5番目の巨大な堂です。



左:如来堂内外陣境/柱の間隔を広く取り、天井の高さを変えることで堂内を広く感じさせている。内陣は柱と壁、欄間に至るまで金箔をはり、壮麗な空間を作り出している。

右:如来堂厨子/細部まで金箔が施された美しい厨子。



左:御影堂内部正面側面奥大間/天井までの高さは8m。通し柱の数を減らして作られた広い空間では、一度に約2000人が参拝できる。内陣の金色に輝く柱と多彩な天井画が尊厳な雰囲気を出している。

右:御影堂厨子/厨子の扉は極彩色の花で飾られている。

■その他 一身田寺内町の見どころ



一身田寺内町の館: 一身田寺内町の歴史や文化を写真や模型などで分かりやすく紹介している施設。展示室や休憩スペースがあり、寺内町の散策拠点として利用できます。



街並みと環濠: 高田本山専修寺を中心にして発展した寺内町。現在も末寺や商家が立ち並ぶほか、ほぼ完全な形で残されている環濠(堀)など多くの文化財や歴史的な街並みを見ることができます。



蓮: 専修寺のシンボルである「蓮」は7月下旬から8月中旬が見ごろです。

お伊勢さん湯ごりの地 榊原温泉

榊原温泉は千五百年以上前からお湯が湧き、
清少納言の枕草子に「ななくりの湯」と詠われた
日本三名泉のひとつです。

伊勢神宮にお参りする前に
心身を清める「湯ごりの地」として
いにしえから多くの人々に親しまれてきました。



■ 榊原温泉の施設



湯元 榊原館

TEL.059-252-0206

榊原温泉にて唯一、館内に源泉を保有しております。



旅館 清少納言

TEL.059-252-0048

静けさと、時の流れを残した佇まいの湯宿です。



神湯館

TEL.059-252-0001

全室川沿いに面しており四季折々の風景と川のせせらぎを感じられるお部屋になっております。



サンドセラピー砂羽

TEL.059-252-1007

レトロな日本家屋に広がるエスニック空間でリフレッシュできる、砂風呂リラクゼーション施設です。



ラムちゃんパーク 榊原温泉 湯の瀬

TEL.059-252-1313

アンチエイジングをコンセプトに、誰もがほっとできる、心もカラダもバリアフリーな温泉旅館です。



榊原温泉振興協会

三重県津市榊原町6103番地

TEL.059-252-0017

つ じょう 津城

◀ 続日本100

平成29年4月6日(しろの日)
公益財団法人日本城郭協会



津城石垣

津城は天正8年(1580)、織田信長の弟の織田信包(のぶかね)により築かれた平城。慶長13年(1608)に入府した藤堂高虎により城と城下が一体的に整備され、津は伊勢街道の宿場町としても大いに賑わうようになりました。



入徳門



埋門跡



模擬櫓



藤堂高虎像

名城選定

多気北畠氏城館

により選定されました。



北畠氏館跡庭園

■その他 美杉の見どころ



三多気の桜 (みたけのさくら)

日本の桜名所百選にも選ばれている国指定の文化財。水を張った棚田と満開の桜の風景は見事の一言。



君ヶ野ダム

周辺に植えられた桜が水面に映える姿が魅力的な公園。桜や新緑・紅葉など、四季折々の美しい景観が楽しめます。



JR名松線

名松線はJR東海が運営するローカル鉄道で、車窓から見える四季折々に移り変わる景色は、何度乗っても乗る人の目を楽しませてくれます。また名松線の沿線には、地元の人でも知らないような歴史的に価値ある場所や物など、ぜひ立ち寄りたいスポットがあります。



川上山若宮八幡宮

山岳美と渓谷美を兼ね備えた雲出川の水源にあり、近畿最古の社といわれています。多くの参拝詣があり、春と秋には大祭も行われます。

■美杉の自然



アサギマダラ

海を渡る蝶「アサギマダラ」が美杉地域へ飛来します。美杉地域のさまざまな場所で鑑賞できますので、ぜひお越しください。9月から10月頃にかけてしばしば姿が見られます。



フジバカマ

現在美杉町内ではアサギマダラが好む花「フジバカマ」の花畑が拡大中です。なお、9月末～10月が見頃となっています。



ミツマタ

美杉町石名原の山林内にあるミツマタ群生地は、3月から4月頃にかけて三つ又に分かれた枝の先に黄色い花を咲かせます。

津市 東部

津
河芸
香良洲



©YSW Tokyo Inc.

1. 津市産業・スポーツセンター

Map[D-3]

この施設は、新設の屋内スポーツ施設「サオリーナ」「三重武道館」と三重県有数の規模を誇る既存施設のコンベンション施設「メッセウイング・みえ」で構成された、スポーツ施設とコンベンション施設が併設された、県内唯一の施設です。屋内スポーツ施設の名称は、津市出身の元女子レスリング選手で、三大連続五輪金メダルの吉田沙保里氏にちなみ、「サオリーナ」と命名されています。

2. 伊勢上野城跡

Map[E-2]

伊勢上野城(本城山青少年公園)の城跡にある公園に、アスレチック広場や多目的広場、散策広場、日本庭園、が設置されていて、家族連れや仲間と楽しむことができます。また、上野城本丸跡につくられた展望台があり、遠くは知多半島や鈴鹿山脈の山々が一望でき、四季折々の風景を眺めることができます。

3. 津城跡

Map(拡大図参照)

津市のランドマークともいえる津城。続日本100名城に選定されたこの城は、お城公園として美しく整備されており、お堀端や庭園を眺めながらの静かな散策を楽しめます。庭園は繊細な日本庭園と近代的な西洋庭園の2つ。春の桜、初夏のアジサイ、秋の紅葉など、四季折々の情緒ある風景が広がり、中でも春は、吾むす石垣と桜のコントラストが格別の美しさです。

4. 津観音

Map(拡大図参照)

正称は「恵日山観音寺」。津の街の中心地にあり、古くから市民をはじめ、近郷の人々から「観音さん」と呼ばれて親しまれています。真言宗の寺院で、浅草・大須観音と並んで日本三観音の一つに数えられています。年中行事として「鬼押え」節分会や十日観音などの行事に加え、所蔵する多くの貴重な文化財を津観音資料館が随時一般公開しています。

5. 香良洲神社

Map[E-4]

伊勢の皇大神宮(内宮)に祀られている天照大神の御妹神である稚日女命(わかひるめのみこと)を祭神としています。古くから「お伊勢詣りをして加良須に詣らぬは片参宮」といわれ参拝者が絶えなかったといわれています。伊勢湾岸に面した松林の中に拝殿や神明造りの本殿が竹み、今も訪れるものを日本ならではの情緒でやさしく包みこんでくれます。

6. 高田本山専修寺

Map[E-2]

国宝指定された高田本山専修寺は、三重県の中ほど、津市一身田町に位置し、宗祖親鸞聖人のみ教えをまっすぐに受け継ぐ寺院で、高田本山と通称で親しみを込めて呼ばれている寺院です。真宗高田派 本山 専修寺の境内には数多くの伽藍(がらん)が建ちならび、御影堂(みえいどう)は木造建築物として5番目の大きさを誇ります。国宝の西方指南抄などの法宝物も所蔵して現代に伝えています。

7. 四天王寺

Map(拡大図参照)

聖徳太子が全国に建立した四つの四天王寺のうちの一つがここ津の四天王寺です。また、四天王寺には織田信長の生母、土田御前や藤堂高虎の正室の久芳院など津市のゆかりの人物の墓があります。

8. 寒松院

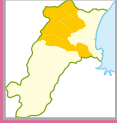
Map(拡大図参照)

この寺は、江戸初期には昌泉院といったが、二代藩主藤堂高次公(たかつくこう)が、藩祖高虎公の霊をまつようになつてから、高虎公の院号をとって寒松院というようになりました。それ以後、この寺は藩主の菩提寺として重きをなし、藩費で維持されました。



津市 中部

久居・美里
安濃・芸濃



9

9. 石山観音公園 Map[C-1]



日本各地に残された磨崖仏の中でも比類なき美しさと規模の大きさを誇っています。山のすべてが、ほぼひとつの石で出来ている岩山に、刻み込まれた見事な仏像の数々は、訪れる者に圧倒的な印象と感動を与えてくれます。石山の巨岩には阿彌陀如来・地藏菩薩・西国33ヶ所観音など、約40体余りの仏像を半肉彫りに刻み出しているのは県下にその例を見ない壮観さがあります。



10

10. 河内溪谷 Map[C-1]

巨岩奇岩と清流が織りなす美しい溪谷。春は桜、秋は紅葉と、四季おりおりに美しさを、楽しませてくれます。紅葉の期間はライトアップもされます。



11

11. 久居駅前ハチ公像 Map[D-4]

渋谷駅で有名な忠犬ハチ公。飼主である上野英三郎氏（久居元町出身）は東京帝国大学（現在の東京大学）の農業工学教授となりました。なお上野氏の墓は、久居元町の法専寺と東京・青山墓地の2ヶ所にあります。青山墓地では上野氏の隣へハチ公も葬られていて、当時の美談を今もなお人々に伝えています。



12

12. 射山神社 Map[C-3]

湯治場がブームとなった江戸時代には、榊原温泉でも湯の神を祀る射山神社を一角に入れた、大きな湯治場が出来ました。神社境内から湧く「宮の湯」を使った湯治場は当時の図面を見ると100から成る客室が並ぶ大規模なもので、射山神社も「温泉大明神」という名で明治の中頃まで続きました。



13

13. 辰水神社 (ジャンボ干支) Map[D-3]

その年々の干支を潜り抜けることにより「家族円満、万民和楽、五穀豊穡」を願い、その年の世相に合った干支（12支）をふるさと愛好会が作成、12月29日から2月まで辰水神社の「干支潜り門」として奉納されます。山村の文化振興と地域活性化のため、又地域のシンボルとして参拝者に期待され好評です。



14



14. おやつタウン Map[D-3]

ベビースターラーメンのテーマパーク「おやつタウン」をご存知ですか？伊勢神宮、鈴鹿サーキットと共に愛される三重のホットスポットを目指しています。家族はもちろん、友だちや恋人と、オリジナルベビースターを創れば、旅の思い出にひと味加わります。本格フードメニュー目当てのお立ち寄りも大歓迎。



15

15. げいのうわんぱーく Map[D-1]

屋内施設の交流プラザと屋外施設の芝生広場を備えた、晴雨を問わず無料で楽しめる新しいタイプの親子遊び空間です。駐車場も完備し、車で気軽に立ち寄ることができます。子育ての仲間づくり、心身のリフレッシュにご利用ください。



津市 南部

美杉
白山
一志



16

16. JR名松線

Map【B-5】



平成28年3月26日に完全復旧したJR名松線。幾度となく危機を乗り越えてきた『奇跡の名松線』。一志、白山、美杉の風光明媚な景色を味わいながらのんびりと楽しめるローカル線です。終点の伊勢奥津駅ではレンタサイクルや観光交流施設もあり、ゆったりとした旅を満喫できます。

17. 青山高原

Map【B-3】

室生赤目青山固定公園の一角を形成しており、高原には、青山高原公園線と東海自然遊歩道が整備されています。青山高原から笠取山に続くなだらかな草原地帯には、あせび、つつじが群生し、訪れる人の目を楽しませています。三角点の眺めは絶景で、西は伊賀盆地、東は伊勢湾をへだたて、遠く知多半島が見渡せます。関西の軽井沢ともいわれ、南北15kmにわたり、夏は平地よりも4℃ほど低い爽快さ。5月にはツツジがいっせいに色づき、秋にはスキーが一面を覆います。山頂付近は津市、伊賀市にまたがり、令和5年1月には89基になる白い風車がゆったりと羽根を回しています。



17



18

18. キャンプ場

自然との触れ合いを最大限満喫できるのがキャンプ場の魅力です。津市内、特に美杉地域では複数のキャンプ場が整備されており、標高700mの大パノラマが特徴だったり、ハンガロウなどの設備が充実していたりとお好みに合わせてアウトドアライフに浸れます。



19



20

19. 三多気の桜

Map【A-6】

国道368号から真福院の山門に至る1.5km余の参道は、馬子唄にも歌われた山桜の名所。その桜並木は国の名勝に指定され、さくら名所百選にも選ばれています。4月には桜祭りも催され、毎年大勢の観光客でにぎわいます。

20. 白山比咩神社(しらやまひめじんじや)

(七白山めぐり) Map【C-4】

大正時代、七白山(倭、川口、八対野、山田野、家城、竹原、飯福田の神社)にお詣りすると、加賀白山にお詣りするのと同じご利益があると言われる、盛んにお詣りされていました。



21

21. あまご料理

川の源流部にだけ棲息するあまご。姿・形の優雅さから川魚の女王と呼ばれ、淡甘味の良さは食通にも評判です。美杉地域では、独自の製法で、あまごの美しさと美味しさを最大限に味わうことができます。

22. 北畠神社(北畠氏館跡庭園)

Map【B-6】

奥一志の多気御所として栄華を誇った伊勢国司の北畠顕能を祀る。「太平記」ゆかりの神社でもあり、昔から多くの著名人がこの神社を訪れています。境内にある北畠氏館跡庭園は日本三大武将庭園で、枯山水と池泉回遊式を組み合わせた室町期の名園です。名勝及史跡にも指定され、紅葉の名所としても有名です。なお、多気北畠氏城館は続日本100名城に選定されました。



22

津の海



23

23.津なぎさまち Map[E-3]

中部国際空港へのアクセス港として開港しました。高速船は朝6時～21時までほぼ毎日時間就航しており、約45分で対岸に到着します。ターミナル横のベイスカには、レストラン等が入っており、海を見ながらのお食事が楽しめます。

24.マリーナ河芸 Map[E-1]

ヨット、モーターボート、ウィンドサーフィン、フィッシングなどのマリンスポーツ、伊勢湾でとれる新鮮素材を活かした食事が楽しめる全国でも珍しい「掘り込み式マリーナ」です。また、マリーナに隣接して親水公園も整備されています。敷地内の三重マリナーセンターは夏合宿など、団体の受け入れや部活動などでもご利用いただけます。



24



25



25.津ヨットハーバー Map[E-3]

海洋スポーツセンター(津ヨットハーバー)は、伊勢湾岸のほぼ中央に位置し、1年を通じて穏やかな海面は伊勢志摩方面へのクルージングやヨットレースのホームポートとして最適です。また、広いスペースのボートヤード。鳥や岩礁のないセーリングエリア。施設環境・自然環境ともに恵まれ、充実したマリナライフを満喫することができます。

26.ビーチバレーin御殿場

Map[E-3]

毎年、夏には御殿場を熱くさせるビーチバレーボール大会が開催されます。熱気あふれるバトルで津の海を盛り上げます。



26



27

27.御殿場海岸 Map[E-3]

白砂青松で有名な津の海は、県立自然公園に指定され約17キロに及ぶ連続した海岸線があり、春から夏のシーズン中は潮干狩りやたてばし・海水浴などに大勢の家族連れが訪れます。香良洲町の香良洲海岸でも同様に潮干狩りや海水浴で大変にぎわいます。

28.津花火大会 Map[E-3]

大正時代から続く津の夏の風物詩です。見どころは、海を舞台に繰り広げられる海上花火です。疾走する船から次々と花火玉を海中に投げ込み、孔雀が一斉に羽を広げた華麗な姿を連想させます。



28

29.ボートレース津 Map[E-3]

ひときわ目をひく建物が、1階から4階まで、どこからでも出入りができる貝殻模様の多目的映像ホール、ツッキードーム。客席数は673席。正面に据え付けられた36面マルチビジョンでは、リアルタイムでレースの様子が映し出されます。日本初公認のボートレース場で1952年に誕生しました。



29

津市歴史街道



30 閻魔堂

30.伊勢街道

Map[E-2]

伊勢湾沿いに伊勢神宮まで南下していく道。険しい峠越えもなく歩きやすい街道として、お伊勢参りが流行した江戸時代には、多くの参宮客が往来しました。

31.伊勢別街道

Map[D-1]

東海道・関宿と伊勢街道・江戸橋を結ぶ街道。江戸時代には京都方面からのお伊勢参り客でにぎわい、現在もあちらこちらに当時を匂わせる常夜灯や古い家並みが見られます。

32.伊賀街道

Map[C-2]

藤堂高虎が治めた津城と伊賀上野城を結ぶ長野峠越えの道。江戸時代には津藩の最も重要な官道としてにぎわいました。

33.奈良街道

Map[C-3]

奈良街道の成立は古く、中世には奈良と伊勢を結ぶ街道として発達しました。江戸時代に入ってからは「おかげまいり」の人々で利用者が急増し久居の城下も賑わっていました。現在の奈良街道は、美里町五百野から松阪市月本までの16キロメートルあります。

34.初瀬街道

Map[C-4]

京都や大和方面から青山峠を越え伊勢へいたる街道。最短の道であった伊勢本街道に比べ、平坦で歩きやすかったことから伊勢参りの宿場町としてにぎわいました。

35.伊勢本街道

Map[B-6]

大阪から伊勢へ向かう最短の道であった伊勢本街道。途中の多気(現在の美杉)は、伊勢国司・北畠氏の本拠地として栄え、また、伊勢参りの宿場町としてもにぎわいました。

36.香良洲道

Map[E-4]

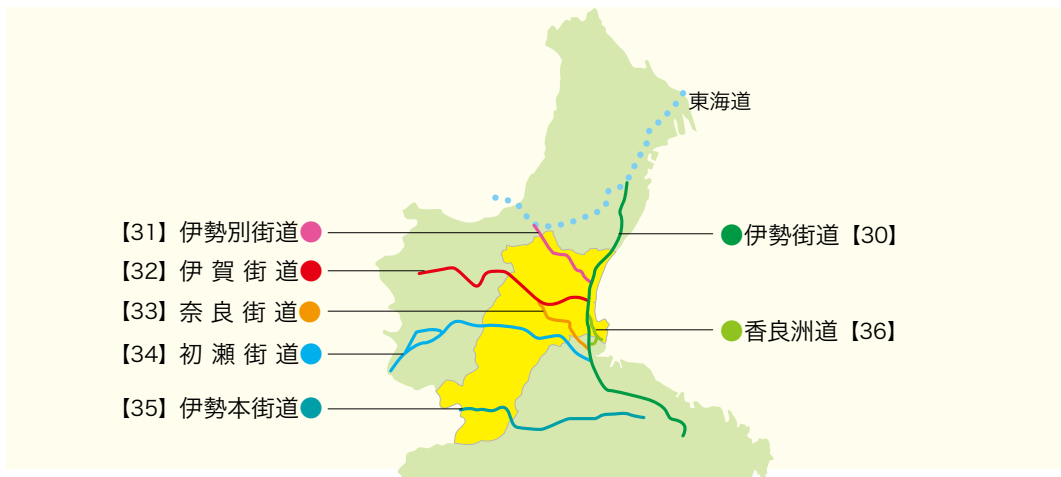
伊勢街道と分岐し、香良洲へと続く道「からす詣らねば片参宮」と呼ばれ、香良洲神社へと続く道は、多くの参宮客でにぎわいました。雲出川を渡ると再び伊勢街道と合流しています。



31 椋本宿



32 谷川士清旧宅



- [31] 伊勢別街道
- [32] 伊賀街道
- [33] 奈良街道
- [34] 初瀬街道
- [35] 伊勢本街道
- 伊勢街道 [30]
- 香良洲道 [36]



33 茶屋の道標



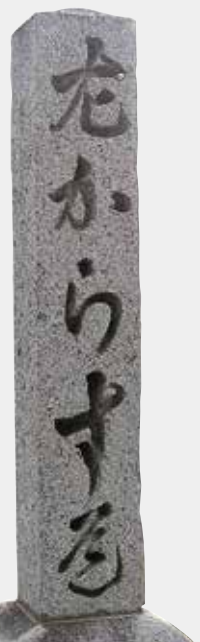
34 垣内宿



35 奥津宿



36 香良洲の常夜燈



津の祭り



37

37・38・39・40.津まつり

Map(拡大図参照)



38



39



40

毎年10月に行われる津市最大のお祭り。その歴史は古く、江戸時代から380年余の歴史を誇る伝統行事です。伝統芸能である「唐人踊り」「しゃご馬」「八幡獅子舞」「入江和歌囃子」などのほか、「津高虎太鼓」や和船山車「安濃津丸」、さらには平成10年から始まった「安濃津よさこい」も加わり、市民あがてのまつりとして多くの人出でにぎわいます。また、安濃津よさこいは、(公社)津青年会議所が主体となって平成10年の津まつりから始めた踊りで、北海道札幌市のYOSAKOIソーラン祭りや、高知県高知市のよさこい祭りを参考にしたもので、年齢・性別等に関係なく、誰でもまつりに参加することの出来る催し物です。



41

41.ごんぼ祭り Map[C-6]

ごぼうを仲山神社にお供えする珍しい祭り。神輿を担いだ氏子繁栄やボラを使った五穀豊穡の祈願など、奇祭の異名をとる祭りです。(毎年2月11日)



42

42.ざるやぶり神事 Map[E-2]

一色八雲神社の約400年の伝統を誇る裸祭り。花火の音を合図に下帯姿の男性が肌と肌をぶつけ合いながら奪い合う姿は勇壮そのものです。(毎年7月15日)



43

43.やぶねり Map[E-2]

白塚町八雲神社の夏祭りに行われるやぶねりは、祭神のスサノオノミコトが退治した八岐大蛇をまねた青竹を束ねて作った「やぶ」をかついで町中を練り歩き、悪病退散などを願うエネルギーな行事です。(毎年7月11日)



44

44.御湯(湯立神事) Map[C-3]

温泉と長命水を混ぜた水を沸騰させて、クマザサで参拜者にふりかけ、無病息災を願う伝統行事です。(毎年2月11日)



45

45.お七夜 Map[E-2]

毎年1月9日から16日まで7日7夜にわたり営まれる親鸞聖人の報恩講です。真宗高田派本山専修寺の門前には露店が並び、毎年10万人余の人でにぎわいます。

津の偉人



46



46. 藤堂高虎 (1556~1630) (高山神社) Map (拡大図参照)

弘治2年(1556)、近江国藤堂村(現在の滋賀県甲良町)に生まれた戦国武将で、城づくりの名手として知られ、戦略家でもあって生涯に7人の主君に仕えました。関ヶ原の戦いでは東軍の勝利に貢献し、その功績によって大きく加増されて20万石の大名となり、その後伊予国今治(愛媛県今治市)から伊勢・伊賀に転封となって津城を改修し、津の町の基盤整備を行いました。

47. 北畠顕能(きたばたけ あきよし) (生年不詳~1383)

南北朝時代より多気を本拠に勢力を誇った初代伊勢国司。田丸城落城の後、多気(現在の津市美杉町)に本拠を移したとされています。その後、顕能はここ多気で、南朝方の中心勢力として活躍しました。

48. お江 (1573~1626)

戦国武将浅井長政と織田信長の妹、お市の間に生まれた三姉妹の末子。

天正元年(1573)の小谷城落城後、母や姉二人(茶々、初)とともに織田信長に預けられたとする記述(『織田軍記』巻十三)があり、天正10年(1582)の本能寺の変で織田信長が亡くなるまでの間、伊勢上野城で過ごしたといわれています。

49. 谷川士清 (1709~1776)

Map (拡大図参照)

医者でありながら数々の著作を残し、本居宣長とも並び称された日本を代表する国学者。「日本書紀」を分かりやすく解説した『日本書紀通証』や日本初の50音順の国語辞典『和訓栞』が有名です。

50. 西島八兵衛 (1596~1680)

浜松市に生まれ、藤堂高虎の近習として仕えました。地図作成・ため池築造・荒地開発などに才能を発揮し小波田神田や雲出井用水路の開発を行い、水利・灌漑の面から津藩を支えました。この銅像は丸之内商店街に設置されています。

51. 川喜田半泥子

(1878~1963)

半泥子の号は禅の師の命名で、「半(なか)ば泥(なず)みて半ば泥まず」という意味。多忙な日常において、書画、茶の湯、俳句、写真など実に多彩な趣味を持ち、なかでも陶芸においては趣味の域を越え、「東の魯山人、西の半泥子」と称されるほど高い評価を受けています。



津市PRキャラクター「ゴーちゃん」



47



48



49



50



51

津の 博物館 ・ 資料館



52



52.三重県総合博物館MieMu

Map(拡大図参照)

自然科学標本や県内各地から出土された考古品、弥生式のつぼなどが保管されています。さらに裏庭には「鳥居古墳」が復元されていて、石室のある古墳の様子を見ることができます。企画展示や基本展示、イベントなど年間通して楽しむことができます。☎059-228-2283



53



53.三重県立美術館

Map(拡大図参照)

常設展示は年間4期に分けて、日本近代絵画を中心に、現代に至る美術の流れを系統的に捉えることを目指しています。また企画展示室では、独自のテーマによる自主企画展を催すとともに、より広い観点での共同企画展を行っています。☎059-227-2100

54.石水博物館

Map[E-3]

江戸時代に伊勢商人の豪商であった川喜田家の旧蔵資料を中心として展示し、その分野は、茶道具、書画、洋画、古書典籍、錦絵、伊勢商人関係歴史資料など多岐にわたります。川喜田家の当主が代々蒐集してきたコレクションと陶芸家として知られる川喜田半泥子の名品の数々をお楽しみください。企画展も開催します。☎059-227-5677



54



55.津市香良洲歴史資料館 (若桜会館)

Map[E-4]

香良洲町には予科練教育を専門におこなう三重海軍航空隊がありました。津市香良洲歴史資料館では、風化しつつある戦争の惨禍を次の世代に伝え継ぐとともににより多くのみなさまに命の尊さや平和の大切さを考えていただく場として、三重海軍航空隊や戦時下の市民生活に関わる資料を紹介しています。☎059-292-2118

56.一身田寺内町の館

Map[E-2]

一身田寺内町とは、高田本山専修寺を中心に発展した戦国時代から続く歴史ある寺内町です。排水や外敵に備え、町の外周に水堀をめぐる「環濠」がほぼ完全な形で残されるなど、多くの文化財や歴史的な町並みを現在に伝えています。町めぐりの拠点として「一身田寺内町の館」は、専修寺から徒歩2分。寺内町の歴史・文化を紹介した写真や復元模型を展示している他、無料のガイドマップ配布、そして無料ボランティアガイド同伴による散策ツアーを申し込むことができます。(10日前までに要予約) ☎059-233-6666



55



56

57.ギャラリー仙鶴

Map(拡大図参照)

作家の一点物から日常使いの品まで、多彩に取り揃えております。また、ギャラリー仙鶴では川喜田半泥子氏・坪島土平氏作品も展示しています。また、併設されているカフェでは落ち着いた雰囲気の中、半泥子仙鶴窯の陶器でコーヒーやお抹茶などをお楽しみいただけます。リラックスタイムに是非ご利用下さい。☎059-221-7120



57

58.神楽洞夢

Map(拡大図参照)

岡三デジタルドームシアター「神楽洞夢」は、岡三証券グループ創業90周年事業の一環として2013年10月に竣工、翌年4月より本格的運用いたしました。Uniview(ユニビュー)は、アメリカ(アメリカ自然史博物館)、スウェーデン(SCISS AB社)、日本(株式会社オハリコンテック/ロジーズ)の三カ国共同で開発されていた、最新鋭のインタラクティブな宇宙映像ソフトウェアです。☎059-221-3121



58

津の グルメ お土産

59. 津ぎょうざ

津市の学校給食から生まれたご当地グルメです。直径15cmの大きな皮で包んで揚げたぎょうざです。給食でも人気ナンバーワンメニューです。市内ではレストランや居酒屋、温泉旅館など20店舗以上で食べることができます。津ぎょうざでまちおこしている市民団体「津ぎょうざ小学校」がB-1グランプリin明石にてゴールドグランプリを獲得しました。

60. ブラックカレー

老舗洋食店の東洋軒のブラックカレーは松阪牛を使用した、世にも珍しい“真っ黒なカレー”です。手間ひまかけ、丹精こめて作られただけあって深い味わいが広がります。

61. 天むす

先代女将が忙しい夫のために、栄養ある車えびの天ぶらを切っておむすびの中に入れてきたことから生まれた天むすは、津市発祥の名物です。

62. うなぎ

年間消費量が日本一になったこともあるほど津市民に愛されている「津うのうなぎ」。津市内には、うなぎ料理専門店が多数あり、関西風のコクのあるうなぎ料理を楽しむことができます。各店には、それぞれ秘伝の「たれ」による味つけがあり、かば焼きの他に、う巻き、うざくなども味わうことができます。

63. あずきパー(井村屋製菓)

津市発祥の大人気銘菓として、夏の定番のあずきパー、冬の定番の肉まん・あんまんがあります。

64. ベビースターラーメン (おやつカンパニー)

インスタントラーメンを作るときに残った麺のかけらをみて創業者が作り上げたおやつ定番です。津市に本社と工場があるおやつカンパニーは味や価格だけでなく、発想のおもしろさで多くのちびっ子たちに支持されています。

65. 蜂蜜まん

水谷養蜂場ゆかりの初代が「蜂蜜をもっと身近に」との想いから生み出した名物饅頭。焼き立てをほおばると皮はパリッ、中のこしあんはアツアツ、そしてほんのり蜂蜜の風味が広がります。お求めやすい価格で手軽に食べられる津のソウルフードです。

66. 梨

久居・香良洲地域に立ち並ぶ生産直売所は夏の風物詩となっています。

67. いちご大福

津市の名物として有名ないちご大福は津市内の銘菓で多数取り扱っています。

68. 平治煎餅

歴史と伝統のもとで培った昔ながらの製法が生む名菓阿漕平治の伝説で昔から有名な平治の忘れた「笠」を模った卵煎餅です。

69. みそかつ

日本人に親しみやすい洋食の味をということで考え出されたのが味噌かつです。名古屋のイメージの強い味噌かつですが、洋食屋の味噌カツとして1965年にカインドコックの家カトリアで生まれました。洋食屋でいただく味噌の味はまた格別です。



63



64



65



66



68



67



74



75



70.小女子(こうなご)

小女子とはイカナゴの稚魚の呼び名です。釜揚げ、天日干し、釘煮等に加工します。毎年2月下旬頃に漁獲が始まり、伊勢湾の恵み豊かな海で育った「白塚産・小女子」は全国的にも有名で栄養価も豊富です。白塚では他にも様々な魚介類を加工・販売しています。

71.伊勢木綿

数百年の歴史を持つ伝統織物です。糸がやわらかいのでシワになりにくく、やわらかくて肌触り・保湿性・通気性に優れ、贈答品やお土産や日用使いにもぴったりです。また、伊勢木綿の着付け体験などが最近人気です。

72.朝津味

Map[D-1]

2016年7月にオープンした、地元の新鮮で美味しいお野菜や果物が並ぶ農産物直売所です。また、四季折々のお花や珍しい植物が提供される園芸売場などもあり、隣接している栽培見本農場「レッドヒルヒューサーの森」も見所の一つとなっています。

73.道の駅 津かわげ

Map[E-1]

平成28年4月24日開業した道の駅です。海のもの、山のもの津のものがすべてそろえる便利なスポットです。

74.美里フラワービレッジ

Map[C-3]

季節の切り花や花苗、採れたての野菜や卵など、地元の新鮮な農産物が豊富に揃う産地直売所です。

75.道の駅 美杉

Map[B-6]

人に優しい純木造建築バリアフリーの道の駅です。美杉材の販売、展示、美杉地域の特産品の販売を行うほか、各種食事、ソフトクリームなども楽しめます。国道368号や伊勢本街道、森林セラピーコース、北畠神社などを利用する観光客の憩いの場として活用されています。

津の 花と 自然



76

76.結城神社(梅) Map[E-3]

結城神社は後醍醐天皇を奉じて「建武中興」の樹立に貢献した結城宗広公を祀っております。ここは古くから結城の森と伝えられ、結城塚とか結城明神とよばれてあがめられています。結城宗広公の立派な墓碑があり、華麗なしだれ梅でも有名です。

77.長徳寺(龍王桜) Map[C-1]

長徳寺の前の淵に住んだといわれる龍が天に昇る時に、うるごとともに残した桜の種から育ったという伝説が伝わる龍王桜があります。三重県の天然記念物に指定されています。



77

78.明合古墳(桜) Map[D-2]

国指定史跡の明合古墳の主墳は、5世紀前半の安濃川流域最大の首長墳で、以後、三重県下でこのような規模・形態の古墳が築造されていないことを考えれば、三重県の古墳文化を考える上で極めて注目される古墳です。また、安濃中央総合公園では、桜がとてもきれいで開放性のある起伏に富んだ緑の大地と、それらと連続する水の流が魅力的な広場です。木造遊具や広大な芝生の広場があり、ファミリーに楽しい公園です。



78

79.錫杖湖(紅葉) Map[C-1]

安濃川の水源にある美しいダム湖、たくさんの桜の中にある錫杖湖のほとりに錫杖湖水荘があります。湖と山々に囲まれた安らぎの宿で、ゆったりと過ごすひととき、そしておいしい料理にきっと満足していただけます。錫杖湖水荘で、水辺の風景を眺めながらの休憩はいかがですか。



80

80.津偕楽公園(桜)

Map(拡大図参照)

昔は「御山荘」(ごさんそう)、または「御山荘山」とい、津藩第11代藩主藤堂高猷公(とうどうたかゆきこう)が安政年間(1854~60)に別荘を設けたのが始まりです。偕楽園の名は高猷公の俳号からきています。自然の丘陵や谷の趣が充分に生かされ、春には桜や紫つつじが咲きほこり、秋には紅葉等、公園に美しい彩りを添えます。



79

81.君ヶ野ダム公園(桜)

Map[B-5]

春の桜、夏の新緑、秋の紅葉、冬の雪景色と四季折々の景観が楽しめます。特に春の桜と噴水、それらがダム湖に映る姿は圧巻です。春は1500本の桜、秋は紅葉がダム湖を彩ります。



81

82.かざはやの里

(梅・藤・あじさい) Map[D-3]



福祉と環境を融合した花園「かざはやの里」〜かっぱのふるさと〜は、織田信包が合戦で陣城を構え藤堂高虎ゆかりの、周囲8kmに及ぶ「風早池」のほとり、約70,000㎡の丘陵地の伊勢温泉ゴルフクラブの中にあります。梅650本、藤1,800本、あじさい75,000株の園芸作業を毎日しています。日本で初めて園芸福祉を取り入れた花園として春、夏、冬にはそれぞれ美しい花が咲き、福祉と環境の融合した「癒しの花景」をご覧ください。



82



83



84



85



86



87

83.レッドヒルヒーサーの森

Map[D-1]

シャクナゲを中心に約1000品種1万本以上の花木を楽しむことができる里山です。広さ約60,000㎡の園内には世界一のっぼの木とよばれる「センベルセコイア」の大木が育ち、野山を駆けめぐる「森のエリア」と、ローズガーデンやスイレンの咲く池が魅力の「花のエリア」があり、大自然の恵みを感じることができます。

84.忠盛塚 (伊勢平氏発祥伝説地)

Map[D-3]

伊勢平氏発祥の地で正式には平氏発祥伝説地といえます。平清盛の父、平忠盛が生まれた時の袍衣(えな)を埋めたところといわれ、忠盛が産湯を使ったといわれる産湯池も残っています。

85.赤塚植物園

Map[D-2]

大型園芸専門店にて四季折々の植物を提案・販売しております。園芸講習会や寄せ植え教室などを開催しており、シャクナゲやバラなどを栽培している農場は、「赤塚シャクナゲガーデン」として限定で一般公開しています。

86.長谷山

Map[D-3]

津市美里町、安濃町、旧津市にまたがる標高320mの低い山ながら独立峰です。津市の中心市街地・海岸方面の望むことができ、長谷山の背後、右に経ヶ峰、左に青山高原・布引山地がゆったりとたなびきます。ウォーキングコースも多数あり、いずれもなだらかで1時間程度で山頂にいたることから、市民から愛されています。

87.経ヶ峰

Map[C-2]

標高819mの経ヶ峰は、登山道が整備され、頂上には木組みの展望台が整備されています。青山高原や笠取山、伊勢湾、渥美半島などが眼下に広がり、富士山が見えることもあります。

88.森林セラピー基地

都市近郊の癒しの空間。緑豊かな森林と清らかな清流など、美しい自然を活かした特色ある12のセラピーロードをウォーキングすれば、心の癒しを得ることができます。最近ではノルディックウォーキングも人気をよんでいます。

89.溪流

美杉町では、森の澄んだ空気と、自然豊かな溪流を楽しめる場所がたくさんあります。



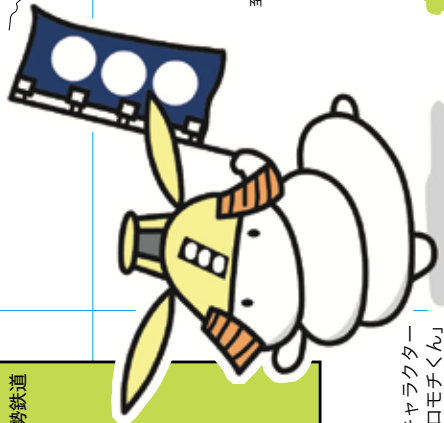
88



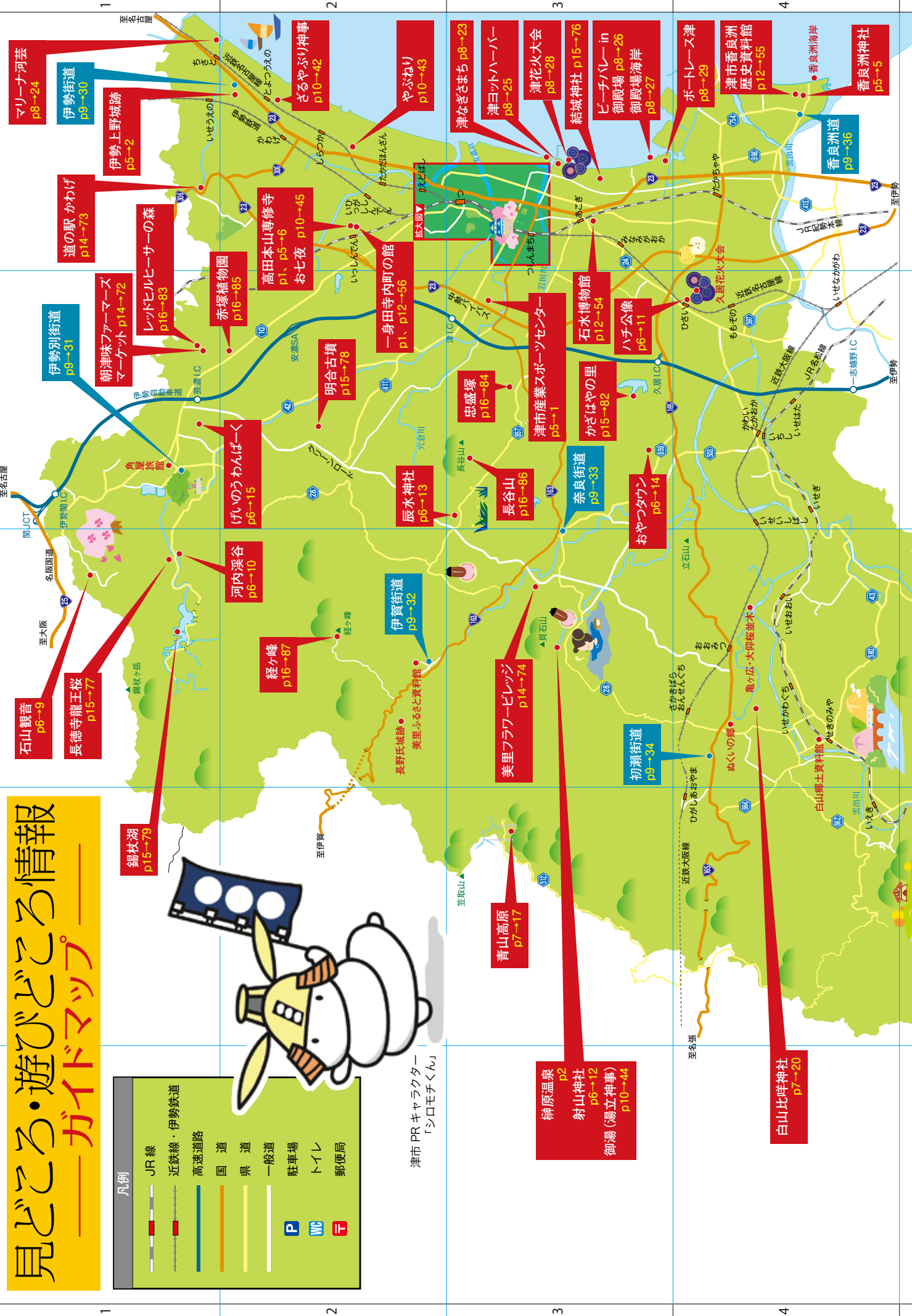
89

見どころ・遊びどころ情報 ——ガイドマップ——

凡例	
	JR 線
	近鉄線・伊勢鉄道
	高速道路
	国道
	県道
	一般道
	駐車場
	トイレ
	郵便局



津市 PR キャラクター
「シロモチくん」



石山観音 p6→9

長徳寺龍王塚 p15→77

錫杖湖 p15→79

河内深谷 p6→10

経ヶ峰 p16→87

げいのうわんぱく p6→15

辰水神社 p6→13

伊賀街道 p9→32

美里フラワーズビレッジ p14→74

青山高原 p7→17

神原温泉 p2

射山神社 p6→12

御湯(湯立神事) p10→44

白山比咩神社 p7→20

マリナー河芸 p8→24

伊勢街道 p9→30

伊勢上野城跡 p5→2

道の駅かわげ p14→73

レッドヒルヒューサーの森 p16→83

赤塚植物園 p16→85

高田本山尊修寺 お七夜 p1、p5→6 p10→45

明合古墳 p15→78

一身寺内町の館 p1、p12→66

忠盛塚 p16→84

長谷山 p16→86

津市産業スポーツセンター p5→1

石水博物館 p12→54

ハチ公像 p6→11

かざはやの里 p15→82

おやつタウン p6→14

津ナガサマチ p8→23

津ヨットハーバー p8→25

津花火大会 p8→28

結城神社 p15→76

ビーチバレー in 御殿場 p8→26

御殿場海岸 p8→27

ポートルース津 p8→29

津市香良洲 歴史資料館 p12→55

香良洲海岸

香良洲神社 p5→3

香良洲道 p9→36

■観光情報

- ◆津市観光協会 059(246)9020
- ◆津市観光振興課 059(229)3170
- ◆三重県観光連盟 059(224)5904
- ◆津市伊勢奥津駅前観光案内交流施設 059(212)0168

■鉄道

- ◆近畿日本鉄道
 - 近鉄テレフォンセンター 050(3536)3957
- ◆JR東海テレフォンセンター 050(3772)3910
- ◆伊勢鉄道株式会社 059(383)2112

■路線バス・定期観光バス

- ◆三重交通 中勢営業所(津) 059(233)3501

■タクシー

- ◆近鉄タクシー津配車センター 059(225)4413
- ◆河芸タクシー 059(245)0086

■観光船・定期船

- ◆津エアポートライン 【予約】059(213)4111
【運行状況】059(213)6582

■レンタカー

- ◆トヨタレンタカー津駅前店 059(213)5500
- ◆エコカーレンタカー 059(269)6850
- ◆ガッツレンタカー津新町駅前店 059(269)7444

■空港

- ◆中部国際空港[セントレア] 0569(38)1195

■有料道路

- ◆伊勢自動車道(NEXCO中日本) 052(223)0333

■緊急連絡先

- ◆警察署
 - 津警察署 059(213)0110
 - 津南警察署 059(254)0110
- ◆救急医療情報
 - 三重県救急医療情報センター 059(256)1199

■宿泊情報

市外局番☎059

市外局番☎059

【津駅周辺】

- ホテルエコノ津駅前 225-7601
- ホテルルートイン津駅前 246-7777
- ドゥーミーイン津 213-5489
- ホテルグリーンパーク津 213-2111
- ホテル ザ・グランコート津西 227-8333
- ビジネスホテル三徳 223-3109
- ホテル三交イン津駅前 222-3539
- 東横INN津駅西口 213-1045
- アポアホテル津 224-5538

【丸之内・なぎさまち周辺】

- ホテルキャッスルイン津 221-2311
- ホテル津センターパレス 269-6990
- フェニックスホテル 224-8100
- 伊勢湾海洋スポーツセンター 226-0525
- 公立学校共済組合津宿泊所 プラザ洞津 227-3291
- ビジネス旅館 若草 226-2354
- ビジネス旅館 近畿荘 228-4212
- みかさ旅館 227-7538

【久居駅周辺】

- 久居グリーンホテル 256-5158
- ホテルルートイン久居インター 254-1211
- ステーションホテルAU 255-8560

【芸濃町周辺】

- 錫杖湖水荘 265-2019

【河芸周辺】

- LIFE&HOTEL UMIMORI 245-5001

【香良洲町周辺】

- くもづホテル&コンファレンス 234-3030

【JR名松線沿い】

- ココパリゾートクラブ ホテルアザリア 262-5211
- ココパリゾートクラブ ホテルシャトーフェニックス 262-7111

【温泉宿泊施設】

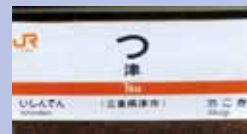
- 神原温泉**
 - 湯元榊原館 252-0206
 - 清少納言 252-0048
 - 神湯館 252-0001
 - 湯の瀬 252-1313
- 火の谷温泉** 美杉リゾートホテルANNEX 272-1155
- 磨洞温泉** 涼風荘 228-8413
- 霧生温泉** メナード青山リゾート 0595-54-1326



高速船舶着き場

津トリビア 日本一!のまち「津」

日本一短い地名「津」は「みなと」を意味する言葉で、日本で一番短い市町村名です。JRや近鉄の駅表名「つ」は最も短く、「?」に見える、写真スポットとしても人気を得ています。



(一社) 津市観光協会 【津駅前観光案内所】

〒514-0009 三重県津市羽所町700番地 アスト津1F
TEL.059-246-9020 FAX.059-221-0811
営業時間/10:00~18:00 休日/月曜日、年末年始

印刷：伊藤印刷株式会社 三重県津市大門 32-13 TEL.059-226-2545 <https://ito-ptj.co.jp>

